



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和5年9月29日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

H P : shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



主体的に、能動的に学ぶ



空を見上げると、ウロコ雲やイワシ雲など、秋の雲が見られるようになりました。

10月7日の運動会に向けて子どもたちは、体育の時間はもちろん、休み時間にも応援の練習やなかよし種目の練習に熱心に取り組んでいます。今年は、久しぶりにすべての学年のおうちの方や地域の方に運動場に入っていただきます。大勢の皆さんに見守っていただく中、子どもたちはきっと、練習の成果を出してくれるものと思います。温かい声援をよろしくお願いします。

2学期に入り、どの学年も、各学年のヤマ場となる学習内容に取り組み始めています。1年生は漢字をもういくつも習いました。2年生はいよいよ「かけ算」の学習が始まっています。下記の全国学力・学習状況調査の質問紙の結果にもあるように、今、子どもたちは友達と話し合うことを通して自分の考えを深めたり、広めたりする学習をすることが増えてい
す。先日、6年生の算数の授業でも左図の色の付いた部分の面積をグループで話し合い、試行錯誤しながら求めました。「これはどうする?」「こうしたらどうだろう。」と一人一人が考え、意見を出し合いながら解決していました。

講義を受けるだけでなく、グループ学習や実際に手や体を動かして体験すること、他の人に教えることなど能動的な学習をしていくことで、より学習が定着するそうです。子どもたちが主体的に学習に臨めるよう、様々な学習活動に取り組ませていきたいと思います。おうちでもぜひ、子どもたちから教えてもらってください。「なるほど。」とうなずきながら。

校長 小森昌子

【令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について】(6年生)

4月18日(火)に実施した全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。国語は全国の平均正答率を上回り、算数は全国の平均正答率とほぼ同等の結果でした。今回の調査では次のような状況が見られました。

【国語】 全体的には全国平均を上回る結果でしたが、「資料の読み取り」と「質問の意図の把握」の面で弱さが見られました。複数の資料から必要な情報を取捨選択し、整理すること、相手の意図を考えながら話し合うこと等を意識していけるよう、日々の授業改善に取り組めます。

【算数】 全国平均とほぼ同等の結果でしたが、「図形」と「割合」に弱さが見られました。基本的な知識や計算力は身に付いてきているのですが、「折りたたまれた図形」や「%と割合の変換」等、一工夫ある問題になると正答率が下がる傾向が見られます。教科書の内容が「分かる」だけでなく、その知識をもとにイメージを広げたり、活用したりできるところまで力を伸ばせるよう、授業改善や宿題の工夫に取り組んでいきます。

【児童質問紙】 多くの質問において、全国平均よりも肯定的な反応が見られました。紙面の都合上、顕著な反応が見られた項目のみ記載します。

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」

肯定的な反応: **約92%** (全国: 約81%)

○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」 肯定的な反応: **約90%** (全国: 約77%)

子どもたちの回答から、日々前向きに学習している様子が見受けられます。中でも、学級の友達とともに学びを深める姿勢、今日の学びを次につなげる姿勢に対して肯定的な反応が多いことは素晴らしいです。友達とともに努力する経験を積み重ね、日々成長していけるよう、これからも適切な指導を継続していきたいと思います。